

編集 後記

本誌の編集委員は1991～1996年以来、2回目となります。当時と比べて、現在の公衆衛生の課題や方法は大きく変わっています。第50巻記念事業として、3号に掲載論文の時代的変遷、7号に歴代編集委員長による寄稿、本号に第1回座談会が掲載されています。本誌の果たしてきた役割の変遷などが分かります。

編集委員会の役割は会員にとって、よりよい雑誌を刊行することです。当時、論文原稿の種類に「公衆衛生活動報告」が新たに加えられました。本巻1号からみていくと、いずれの種類にも相応しい論文が掲載され、定着してきたように思います。いま、倫理への配慮や英文論文の掲載など、投稿規定について議論しています。

編集の進め方としては、論文が投稿されると、2人の査読委員と担当編集委員を選びます。審査の結果が揃うと、編集委員会での議論を経て、審査の結論が決まり著者に伝えられます。一連の過程は月に1回の編集委員会で行われます。審査期間の短縮は当時からの重要課題でしたが、いま、e-mailの活用などを検討しています。今後とも、会員からの要望には積極的に対応していきたいと考えています。

(橋本修二)

次号予告

論壇

医学教育への看護学の導入

一人間性、専門性を基にした医療の実践のために……………宮村季浩, 他

原著

地域在宅高齢者における高次生活機能を規定する認知機能について:

要介護予防のための包括的健診(「お友達健診」)についての研究……………岩佐 一, 他

介護保険導入による市区町村の保健福祉サービスの変容……………白鞘康嗣, 他

老人クラブ会員の社会活動レベルの現状……………高橋美保子, 他

アルブミン製剤使用に関する都道府県格差の要因分析……………正林督章, 他

地域在住高齢者における扁平足と足の自覚症状、および肥満との関連……………大塚 礼, 他

資料

在宅ケアに関わる薬局業務の機能的特徴

大都市近郊T市および大都市旧市街K区薬剤師会会員薬局調査からの考察……………恩田光子, 他

生活習慣と主観的健康度のパス解析

一帯広市における健康日本21アンケート調査結果からの検討……………園田智子, 他

名古屋市内の住宅における室内空気中カビおよび室内空気汚染物質濃度……………酒井 潔, 他

第10回日本行動医学会学術総会

1. メインテーマ:「ヘルスプロモーションにおける行動医学の新たな展開」
2. 会期: 2003年12月6日(土)・7日(日)
3. 会場: 東京医科大学病院 東京都新宿区西新宿6-7-1
4. 学会参加費: 会員5,000円, 非会員7,000円 (学生は会員3,000円, 非会員4,000円)
5. セミナーのお知らせ: 当日は「行動医学セミナー」も開催されます。(参加費別途必要)
6. お問い合わせ

総会事務局

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1 東京医科大学衛生学公衆衛生学教室内

第10回日本行動医学会学術総会事務局

TEL: 03-3351-6141 内線237 FAX: 03-3353-0162

E-mail: prev-med@tokyo-med.ac.jp

*総会、セミナーの詳細ならびに新規入会につきましては…

学会ホームページ <http://www.jsbm.jpn.org/index-j.htm> にアクセスください。